

## 1. 元イラストを3D化する方法の選択

Tinkercadでは直接イラストを読み込んで3D化する機能はありませんが、以下の2つの方法が取れます。

### 方法A: SVG変換を経由する(平面モデル向け)

1. PDF内のモンスターイラスト部分を画像(PNG/JPG)として切り出す
  - 画像編集ソフト(GIMP、Photoshop、Canva等)で背景を透過にします。
2. PNG画像をInkscapeやVectorizerなどでSVGに変換する
  - 黒い輪郭や主要な形をパス化する。
3. TinkercadでSVGをインポートすると平面パーツとして読み込まれる
  - 読み込んだ後は押し出して厚みを付けられます。

### 方法B: 手作業でパーツを再現する(立体感重視)

1. Tinkercadで基本図形(立方体、円柱、球、半球、くさびなど)を組み合わせてモンスターの形を作る
2. 色分けしたい部分ごとに別パーツにする
3. 必要に応じて曲線部分はスカルプトっぽい形(カスタム形状)で近づける

---

## 2. 実際に作る際のコツ

- 色再現: Tinkercadはパーツごとに色を設定できるので、イラストの配色を近づけやすい

- 細かい表情: 目や口は平面パーツ(SVG化)を貼り付けるか、薄い立方体や円柱を重ねて表現
  - 立体化の工夫: 単なる板ではなく、背面や横面にも少し厚みをつけると3Dプリント時の安定感が増す
- 

### 3. 仕上げと活用

- 3Dプリント: 完成したモデルをSTL形式でエクスポートすれば印刷可能
  - 展示・教材: 探究学習の説明用フィギュア、カード立て、ジオラマのキャラクターとして利用できる
  - 拡張: 各モンスターに「台座」や「吹き出し(鳴き声)」を追加して教育効果アップ
- 

もしご希望であれば、このPDFの中の「デッカダイ」や「ササヤッキー」などを**SVG**化して**Tinkercad**に読み込める状態までこちらで変換してお渡しすることもできます。

そうすれば、そのままTinkercadで厚みをつけて3D化できます。

次のステップとして、そのSVG変換から進めますか？